



東燃・奄美計画

東亜燃料工業（社長松山彬氏）が鹿児島県大島郡宇檢村で進めてきた石油備蓄・石油精製基地の建設計画は、四十八年に地元計画を提示して以来、六年ぶりに大きく前進する兆しを見せている。今年一月、二度にわたって宇檢村（村長松元辰巳氏）をはじめ隣接の瀬戸内町、大和村、住用村の四町村が奄美南部地域の総合開発の推進を表明する理由として、難田要人鹿児島県知事に対して五十四年度予算に同海域の環境整備調査費を計上し、調査を実施するよう強く陳情した。

この環境調査が実は東亜燃料の誘致を目的したものであるのは明らか。しかも、この陳情は四町村の町村長や議会議長のほか、漁協組合長の連名である。

東亜燃料の進出計画は地元への反対運動が激しく、これまで

地元、県に調査を陳情

精製も6年間の根回し実る

推進できなかった。鹿児島県も四十九年度に一度環境調査費を計上したことがあるが、この時は地元反対派の突き上げで流れてしまった。それだけに、周辺町村の漁協の名を連ね、この陳情ができてきたことは、地元が、誘致費成りには意図的約されたことを意味し、以前に比べれば大きな変化である。

（これに対し、県は「今のところ何ともいえない。また、この白紙（須賀龍郎企画部長）と前の数四百万円程度の石油備蓄基地を建設したいとされている。一方の石油精製は日産五十万トンから三十万トンに縮小し、石油備蓄基地に次いで

の予算に計上するという見方が強い。建設用地は二百五十万平方メートル。東亜燃料の進出計画は最初、枝手久島と奄美大島本島との間の海峽を埋め立てるとともに、本島の嶺の石油精製基地として打ち出された。総用地面積五百六十万平方メートルという大規模な計画だった。いったん東亜燃料が立地調査に乗り出したが、途中で同社の調査にかわって、県が公平中立な立場

建設する計画。建設用地は二百五十万平方メートル。支手久島と奄美大島本島との間の海峽を埋め立てるとともに、本島の嶺の陸地を造成して用地をつくる。埋め立て面積は約百万平方メートル。海峽は大部分を埋め立てるが、潮の流れる道だけは残す。石油備蓄基地は一期二期計画に分け、二百万トンずつ建設す

が再び東亜燃料の誘致に動き出したのは、奄美南部地域の発展を図るには石油の誘致しかあり得ない、という認識のよきである。この四町村は開発から取り残された過疎地域であり、今も人口は減り続けている。ここに石油企業が立地すれば、どのまうメリットが期待できるか。

民間プロジェクト③



で環境整備調査を実施することになり、先に述べたように一度予算化もした。五十四年度予算に再び盛り込まれることになれば、中断していた同計画が再始動することの意味する。同社が経済環境などに合わせて計画を練り直し、再度宇檢村に提出したのは昨年三月、宇檢村によれば、この計画は石油精製法の制定によって、石油備蓄基地の建設を大きく前面に打ち出し、まず容積四百万トン程度の石油備蓄基地を建設したいとされている。一方の石油精製は日産五十万トンから三十万トンに縮小し、石油備蓄基地に次いで

策等交付金」が制度化され、進出先はもちろん、周辺市町村にも交付金が出されることになった。いずれにしても、この四町村は、過疎に悩まされているだけに、異例のもの。石油基地計画には地元漁民が反対するのが当たり前になっているが、六年間の根回しで四町村の漁協が環境調査の実施を歓迎しているだけに、今後急進に前進しても考えられる。当面は県が四町村の要望をどう受け止めるかが注目されることになっている。



2. 科学技術は原子力船、むづの母港選定を進めているが、その選定条件として「まず、漁港として盛況でないところが第一」というのは、宇檢村長官（要項）

とになっているので、これを持って母港候補地をさらに絞ったうえで、地元と本格折衝に入る予定。長官の地元・長崎県は新母港の候補にあがっているか、との質問に対し「長崎の漁場は二等地。まずありえない」とキツパリ断言する宇檢村長官、果たして、白羽の矢が「この港」に立つのか。

スクラップ帳

告示 漁業権裁判

2月15日 才2回公判は、名瀬地方裁で行われ、両軍弁護士より準備書面が提出された。ウオーミングアップの長さが気になります。鹿児島合同法律事務所が、我々のバック、小堀弁護士が主任です。若くて切れ者の県議員（日共）です。

次回からはよいよ本番。5月17日午後1時から4時まで。原告、橋口富秀。原告、山田塊也。証人、吉久文吉。証人、平田義忠（本年度、平田部落新区長）の反対派4名が発言します。私たち無我利道場の主張は、新しい人種差別、誹謗、虚言、偏見などによって、組合加入を拒否したことに反撃すると同時に、漁民のためでない宇検村漁協のデタラメを糾弾することです。この被差別地帯奄美に在って、被差別者として法廷に立つことを私たちに栄誉に思えます。

裁判の経過などは「無我利通信」でお知らせしますので、申込んで下さい。

次号予告

この戦いの現地に在って、私たち無我利道場の置かれている状況については、十分に認識、理解しているはずですが、まだまだ甘かったと言うか、創刊号で「年4回、季刊予定」などという、とんでもない見当違いを予告したことを、読者の皆様に、深くお詫びすると共に、改めてリアリティに目覚めました。年一回、これがやっとです。

その代り「無我利通信」を7号まで出すことによって、その時々ニュースをお知らせしました。次号もやはりアブリ休漁期に入る正月前から執筆して、来春今頃発行ということになるでしょう。「無我利通信」をもっと充実させますのでよろしく。

定期購読を予約して下さった方々には、定価も一方的に値上げするなど、重ねてお詫びいたします。年一回発行となると、定期購読という言葉も変わるので、「次号予約」ということにさせていただきます。2号、3号及び「無我利通信」を引続いて送らせていただきます。

予約申込み

魚里人3号 特集「激動80年代、琉球弧戦争をいかに戦うか？」
発行 '80年早春 定価600円（仮定）（仮題）
金1,000円也 お送り下されば一年間「無我利通信」をお送りします。親交を深め、関係性を再構成するためにも、ぜひ予約購読者になって下さい。

創刊号 多少残部があります。送料共500円です。

いもーれ (いらっしゅい) 無我利道場

交通 海の便 奄美大島名瀬港まで

・鹿児島新港より

クインコーラル1・2 (照国郵船 TEL 0992-26-2121)

エメラルドあまみ・ひかりなど (大島海運 TEL 0992-26-4441)

毎日午後5～6時出港便あり 二等4,500円

・大阪天保山 神戸中央堤より

フェリー黒潮 (関西汽船 TEL 東京 03-274-4271

大阪 06-571-4831 神戸 078-331-3829)

5日に一便 二等8,350円

・東京有明埠頭

新さくら丸 (大島海運 TEL 03-273-8911)

月6便 二等10,450円

・沖縄那覇港 毎日 二等4,350円

バス

名瀬市バスターミナルより 宇検行き 久志下車

1日2便 午前8時10分 午後2時20分 大人1,300円

住居 無我利道場 頭部 久志部落内 昨夏より借家二軒

無我利道場 密部 枝手久島^{ドン}鈍 八帖土間の一軒

寢具はほぼ完備していますが シュラフ(寝袋)のある方は 持参されたし

通船 ㊦ニ無我利丸 (四人乗り 中古4馬力エンジン)は原則として

一日一回久志一枝手久島を往復(片道約30分)

住人 男、近く7名 女2名 子供4名(5.2.1.5ヶ月 女兒ばかり)

が常住メンバー、他に2～3名の旅行者があり、頭、密両部に

分かれて住む。子供たちは普段は久志部落の方に住んでいる。

経済 漁期にはアブリ漁に参加して生計を立てている他、時には

賃労働なども行う。出稼はほとんどやらなくなった。

賤布は一つであり、会計は当番制。個人的な必需品は合議による。生活費は一人月平均15000円程度。旅行者は特に生活費を出す必要はないが、余裕のある人からは、カンパを願っている。

食事 一日三食。玄米、丸麦、パン、唐芋（サツマイモ）が主食。当番制。漁期にはササミがいっぱい。野菜は完全自給。味噌自家製 誕生日にはケーキ作り

嗜好品 タバコ配給制 3日にSHINSEI一箱 原則に変則あり
焼酎30度（奄美焼酎はイモにあらず。米と黒糖製なり）あれば飲む。なくても

衣服 三月にはもう泳げる。ただし雨履し。雨合羽持参のこと。

医療 湯湾に診療所あり（車で20分）ハブの血清あり。枝手久の密部にはハブ毒用の応急処置薬常備あり。

ハブ 体長80~150cm。大きいものは2mを越す猛毒蛇。癡猛、敏捷、性悪この上なし。S字型に巻いてバネのように一瞬にして体長の3位ジャンプする。筋肉毒に致死量たっぷり。尚を追って人家に入り、小鳥を追って樹上にも登り、夏の夜は夕涼みの浜辺にも出没する。枝手久島はハブ発祥地の伝説があるほど。血清が出来てから死者は殆ど無いが要注意。懐中電灯は必ず持参のこと。

畑 久志部落に畑2反弱。枝手久島鈍に畑3反。春植え、苗床は3・4月。2~30年来放置されて来た田畑は原野と化し、開墾は常時、段々畑を上へ上へと進行中。米作はやらず、唐芋中心に穀類、瓜類、野菜など。

換金作物 只今木くらげ 椎茸 実験中、オモモなども予定中。
ニンニク、ラッキョ、野菜類も未だ量産に至らず。

動物 イヌ、島山羊（乳用にあらず）♀1♂3 ニワトリ♀ ネコ♀

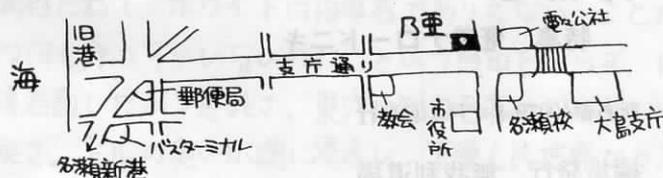
漁 今年も7月頃より、平田アブリ漁(ムロアジ網漁)が開始予定。満月新月の前後4~5日を除く連夜、無我利より6~7名の男が参加。12月まで。昨冬久志モズク養殖組合を発足したが、漁協の横ヤリのため操業停止中。

行事 豊年祭(旧8月)の八月踊りが奄美一年のクライマックス。オ7回枝手久祭(反公害宇検村民会議主催)は7月下旬、体育館を借りて、歌と芝居と踊りと作戦会議。

天候 冬は北西季節風強く時化の日が多い。流し(梅雨)は5・6月。荒ラバ(荒南風)が梅雨を追い払った後は、突然の真夏。連日エメラルドグリーンのベた風ぎの海。台風は8・9月に集中し、年に2・3個は猛烈な奴をまともに受ける。

建築計画など 久志部落の借家修理、枝手久島鈍に納屋作り予定中。一人一室とまでは行かないまでも各人に「机一つの空間」を確保すること。なお枝手久島には上水道、風呂の設備及び、風車発電、メタンガス装置なども研究課題。

名瀬の連絡先 ロック喫茶 乃亜 TEL.09975-2-8891



求む 大工道具、ザーネン種乳山羊、ニワトリ(チャボ)、大島三味線、建築資材購入、ミニコミ発行などにカンパを。

連絡 無我利道場訪問御希望の方は、前もって一報下されれば幸いです。
住所 鹿児島県大島郡宇検村久志 無我利道場
〒894-34 電話 099767-6135 (直通)

ラマクリシユナとヴィヴェーカーナンダについては下記を紹介させていただきます。

機関誌「不滅の言葉」隔月、一部300円＋60円

ヴィヴェーカーナンダ講演集

「愛の叡智」500円＋120円 「アートマン」左に同じ

(発行) 神奈川県逗子市小坪1の20の31 日本ヴェーダ学会

バイバイの一言

ポン この二ヶ月間、無我利通信、年賀状、手紙類一切をゴブサタして来ました。お許し下さい。では畑が待ってますので、このへんでバイバイ!

タカオ おわった、おわった、やっと原稿お~わった! 鈍の浜遊でゆ~くり星への飛翔とまうやつをマンキツしようと思います。デワデワ (笑)

ギャー 魚里人3号には、実感の言葉を載せられればと思ってます。

ミオ 原稿読んだはしごっちゃん、ますますヤル気もりもり「大人女はダメだが、万葉達を日女覚悟に!」いよいよ、いよいよ。その頃には日女もはしごっちゃんを革命してあげる

タマリ 雑誌通りに東京へやってきて、さまざまの人々に助けられました。ありがとう!

ポン子 只今 ドキドキの執筆中 フテブテいんどろ根性も 次回こそ打石皮するぞ!

ウルフ 原稿を書くのは徹夜のイブりきつりマイッタ。

エイま 去年の12月に北海道から来たのです。これから畑や漁とビックリすることや、またア事もたくさんあるので、たあしめでヨ。

魚里人 イザトンチュウ 第2号

特集 奄美ナロードニキ

新石器40079年4月1日発行

編集発行 無我利道場

鹿児島県大島郡宇検村久志(〒894-34)
電話 099767-6135
振替口座 鹿児島11489「ミニコミ魚里人」

印刷 CCC印刷

東京都国分寺市西恋ヶ窪3-15-5(〒185)
電話 0423-24-5569

定価 600円(送料100円)

予約・注文は無我利道場へ
(転載自由)